



エーデルヴァレーマ

屋外設置型可変ブラインド ガイドレールタイプ

取付け説明書

Edel Japan Ltd.

システム概略図

「エーデルヴァレーマ外ブラインド」は手動または電動タイプが選択できます。スラットはガイドレールによりサポートされ風雨にさらされる屋外で安定してご使用できます。電動タイプの電気工事は資格を持った作業者が実施してください。

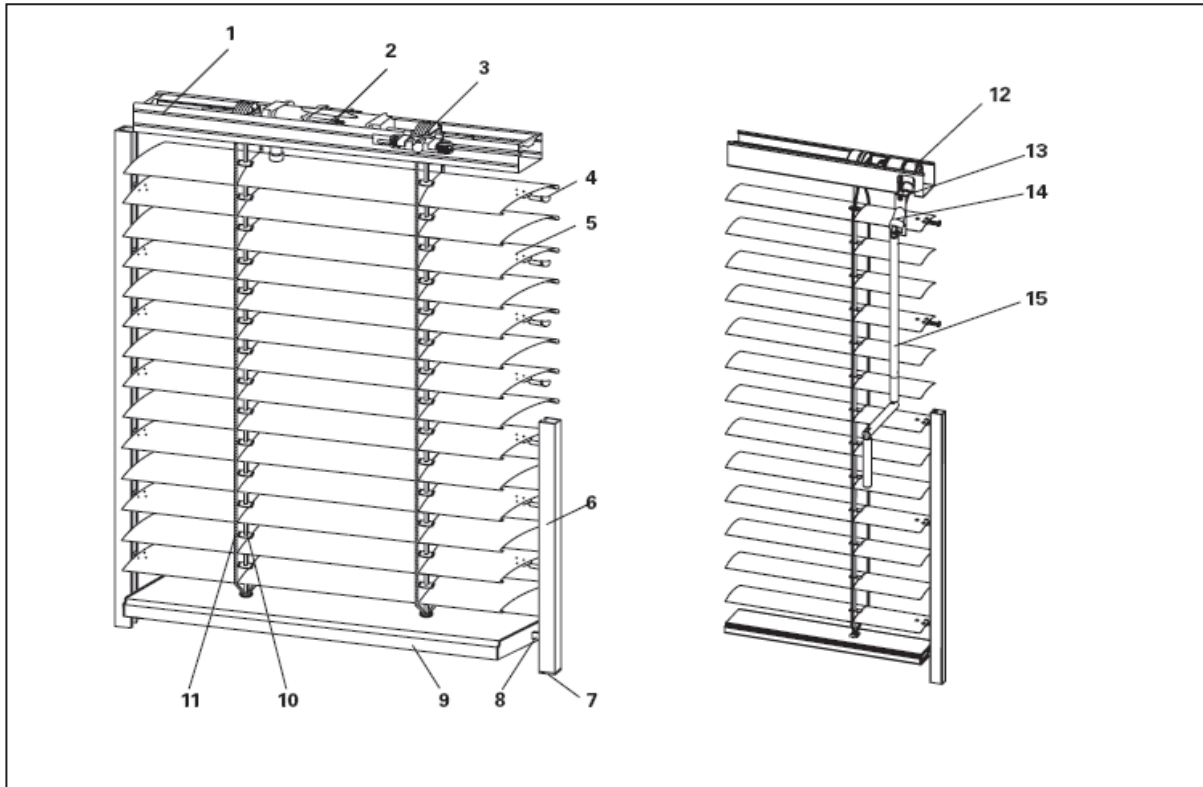


図1. ガイドレールタイプ外ブラインドシステム

電動タイプ (左) および 手動タイプ (右)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. トップレール | 9. エンドレール |
| 2. モーターユニット | 10. リフティングテープ |
| 3. 電源/コントロールプラグ | 11. ティルティングテープ |
| 4. ガイディングニップル | 12. ギヤドライブ |
| 5. スラット | 13. 6角ドライブシャフト |
| 6. ガイドレール | 14. ジョイントプレート |
| 7. エンドプラグ | 15. クランク |
| 8. エンドキャップ | 16. ガイドレールブラケット (図面なし) |

設置手順（シングルユニット）

注）この設置手順は標準仕様となります。特別仕様については表記していませんので、（株）エーデルまでお問い合わせください。

電動タイプの場合は電気配線工事を別途実施して下さい。

取り付けブラケットの設置/位置について

！取り付けブラケットの設置については以下の点にご注意下さい。

- * ガイドレール、ガイドケーブルに干渉しないか確認
- * ブラケットのアームがリフティングテープ等に干渉しないか確認
- * ベアリング、ギヤ、モーターおよびガイドケーブルの位置を確認

注意：ベアリングとブラケットの距離は 50mm 以上離して下さい。

スラット長さ	～1300	～2500	～3500	～4500	～5500	～6000
ベアリング数	2	3	4	5	6	7

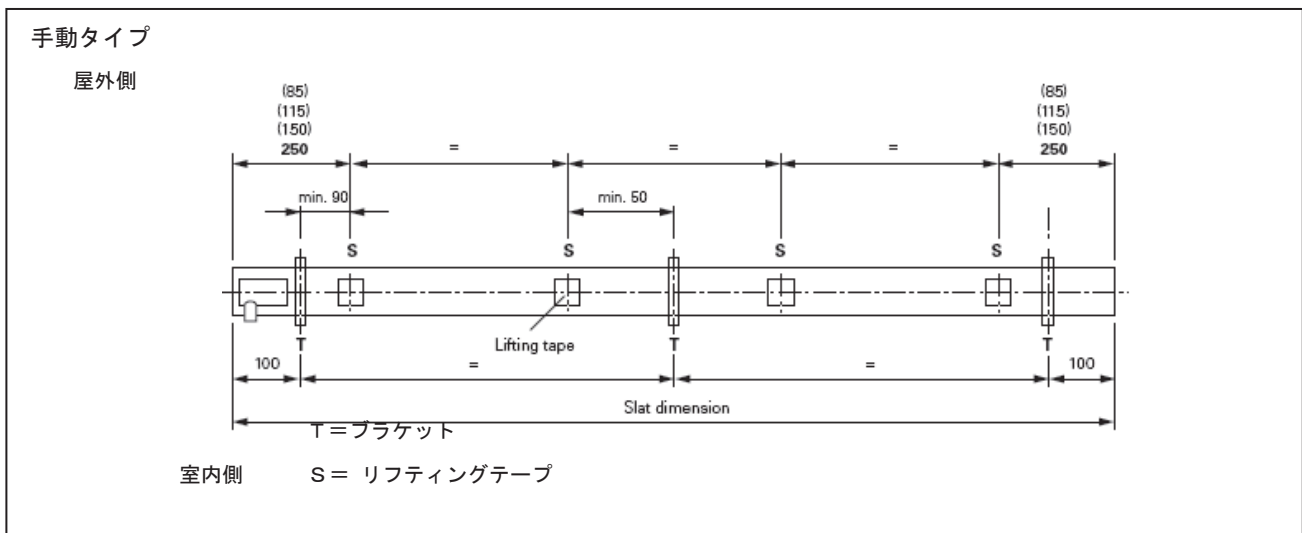
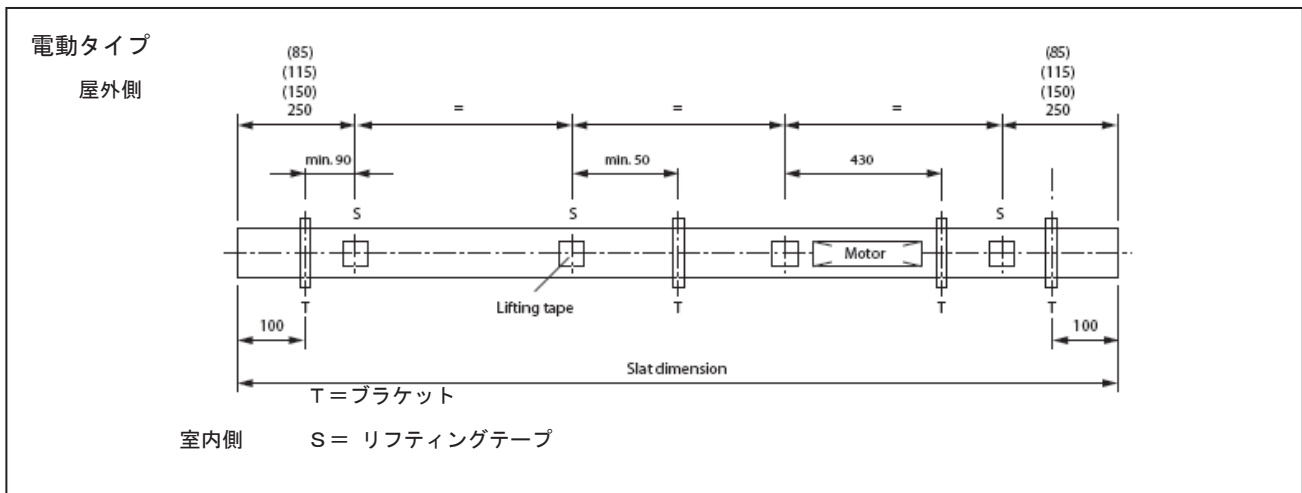


図2 電動タイプ（上）および手動タイプ（下）

☞カバーパネルの設置手順は別途カバーパネル施工手順説明をご確認ください。

取り付けブラケットの設置

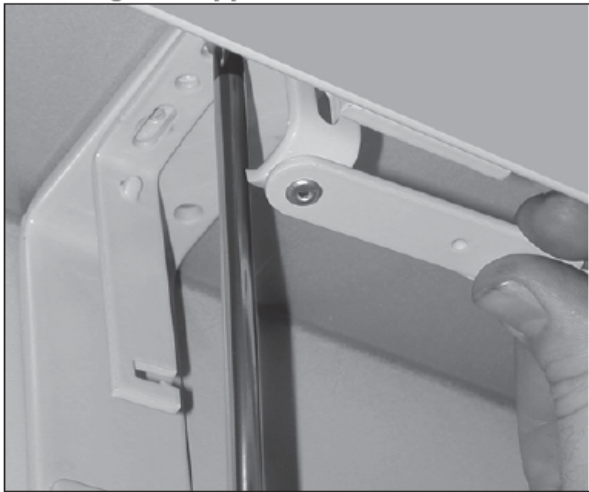


図3 取り付けブラケットの設置（写真はU型カバーパネルの取り付け）

天井、壁部分へブラケットを直接取り付ける場合

- 取り付けブラケット位置を示した図面に従い天井、壁部分に固定用ネジの位置に印をつけ穴を開ける。（穴径はネジの種類によって変える）
- 図3のように取り付けブラケットを天井、壁部分にネジどめする。

カバーパネルサポートに取り付けブラケットを固定する場合

- 取り付けブラケットを付属ねじでとめる
- 取り付けブラケットの位置を調整
- 取り付けブラケットのアームを開ける

👉 以上で固定金具の組立は終了

手動タイプの場合

- 壁面の穴あけが完了しているかを事前に良くご確認ください。

図4の通り正確に穴を開けてください。

注意：パイプ部品は本体に含まれておりません。

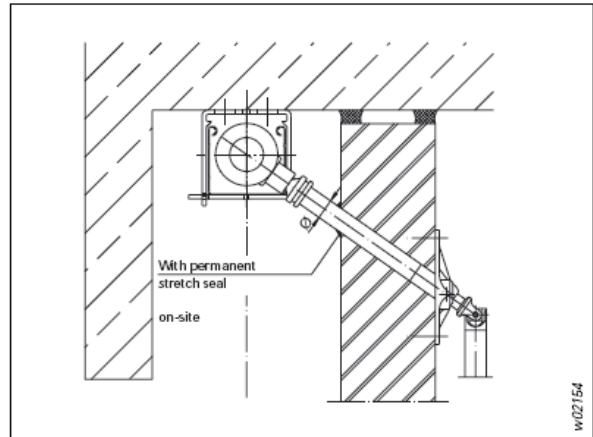


図4：プラスチックパイプとブッシング（オプション）

注意：パイプの直径は穴の大きさによって異なりますが、最大20mmを超えないこと。

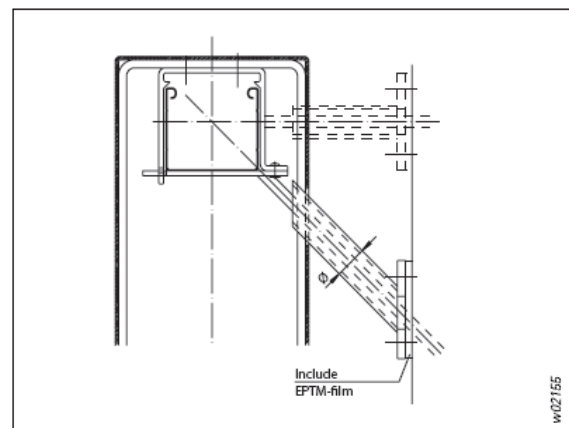


図5：フランジ付きアルミニウムパイプ（オプション）

ノート：アルミニウムパイプのサイズはφ16×1,5mm以上であること

電動タイプの場合

■電気配線用に壁の穴あけ工事および配線の屋外への引き込みが完了しているか確認。

■図6に従って穴あけ工事を行ってください。

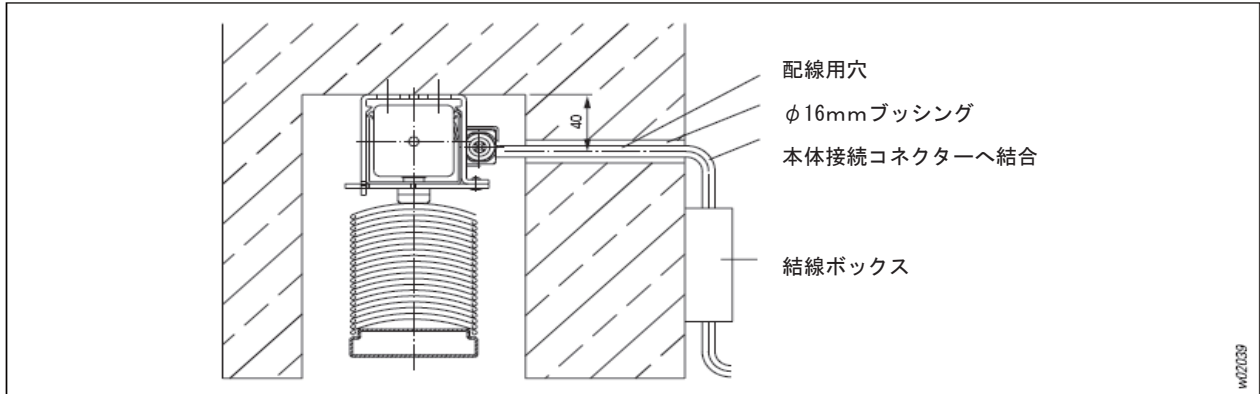


図6 ブッシングおよび接続コネクタ位置

システムの固定

注意：

- ・ 製品落下による怪我にご注意下さい。
- ・ 製品の運搬及び設置時における怪我を防ぐため最低2名で作業を行ってください。
- ☞ 納入時にトップレール及びエンドレールに追加ガイドケーブルが巻いてありますので作業前にほどいてください。

■ガイドケーブルをほどく

手動タイプ (クランクオペレーション)

■図4、5のようにトップレールのギヤシャフトが室内側に向くように取り付けてください。この場合トップレールのラベルも室内側に向くことになります。

■壁にあけた穴を貫通させて6角のドライブシャフトを通します。スムーズに動く様にギヤの位置や角度を調整してください。

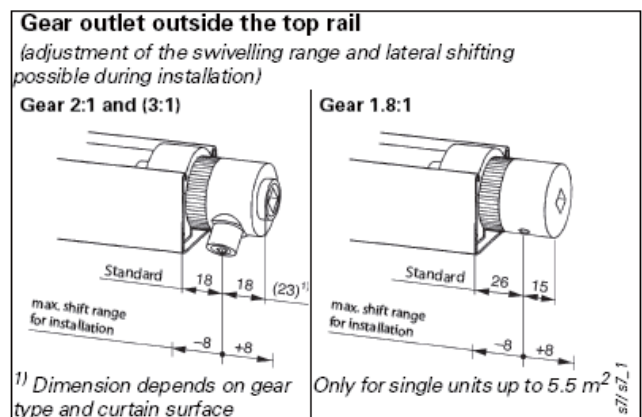
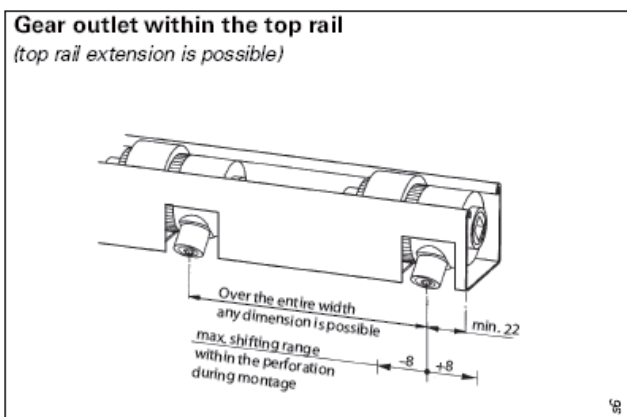
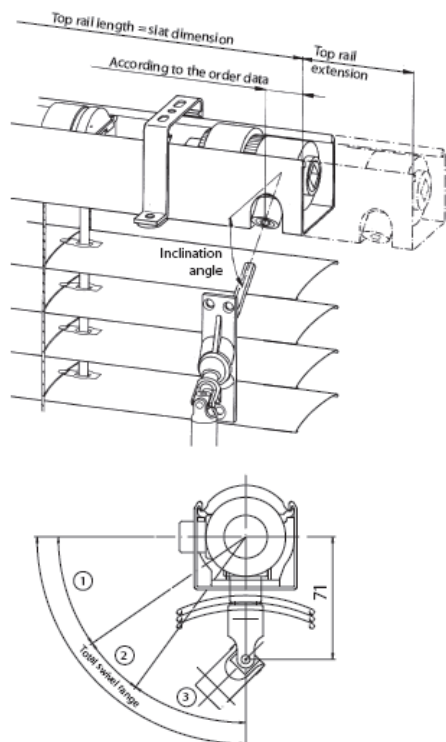


図7. ギヤ位置調整可能範囲

Swivelling range of the gear outlet



① 傾斜角度 0 度—35 度

② 傾斜角度 35 度—54 度

③ 傾斜角度 54 度—90 度

60 度以上は追加ジョイントが必要

W02915c3

■全てのブラケットを閉める

☞全てのブラケットを閉じた後に、トップレールを正しい位置に調節してください。

注意: トップレールの落下により、怪我の恐れがあります。
ブラケットのアームを完全に閉じ最後まで押し込んで下さい。

■トップレールがカバーパネルに対して中央に位置するように調整してください。

■室内ブッシングをネジ止めしてください

■クランクホルダーをクランク設置口に固定します。

図 8 手動タイプ クランクギアの角度範囲

電動タイプ

- 試験用電源を接続しカバーパネル高さ+500mmの位置までスラットを下降させます。
- トップレールの電源ケーブル、ラベルが室内側に向く様に取り付けブラケットにセットしてください。図6および図9参照。

☞ スラットが下降する際にはスラットは外側にチルトします。そうでない場合はトップレールを180度回転させてください。

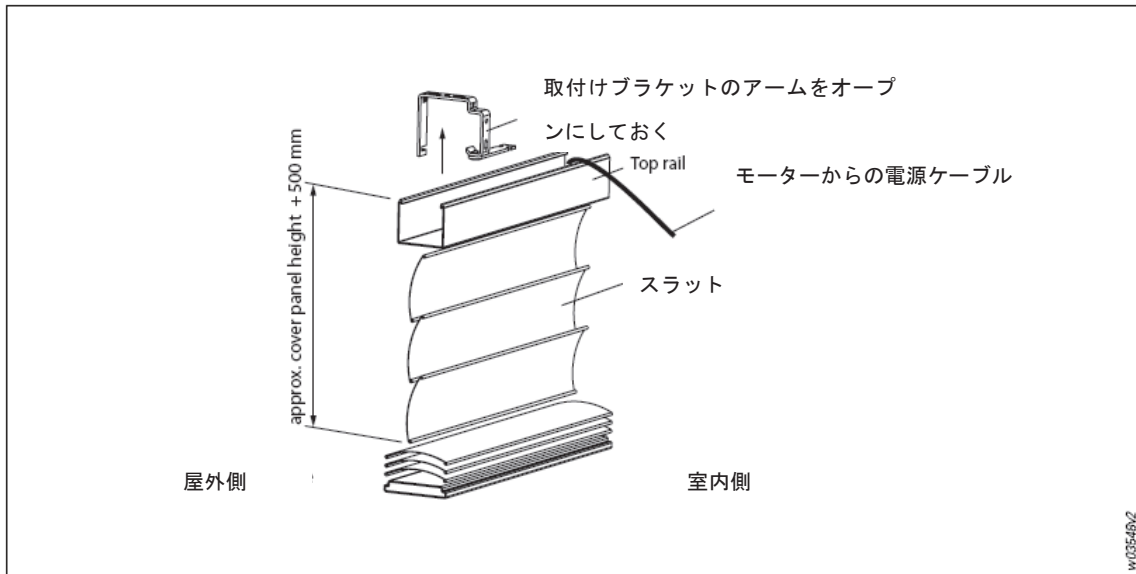


図9 トップレールをブラケットへ取り付ける

- 全てのブラケットのアームを開めてください。

☞ 全てのブラケットを閉じた後に、トップレールを正しい位置に調節してください。

注意：

トップレールの落下により、怪我の恐れがあります。ブラケットのアームは完全に閉じ所定の位置に押し込んで下さい。

- トップレールをカバーパネルの中央に位置するように調整してください

注意：

感電による事故に気をつけて下さい。

電気装置の接続は専門業者によって行ってください。また地域の関連法規及び現地の電気供給会社による接続条件を守ってください。不適切な接続は利用者の感電など大きな危険の恐れがあります。

- 配線図に従って電源を供給してください。本体電源ケーブルは付属のプラスチックフックを使ってトップレールに沿わせ固定します。

！ 試験用電源ケーブルを取り外します。ケーブルがスラットに干渉し破損しないように、また他の支障が発生しないように注意してください。

ガイドレールの取り付け

メモ: ガイドレールのタイプに応じてガイドレールブラケットを選択してください。

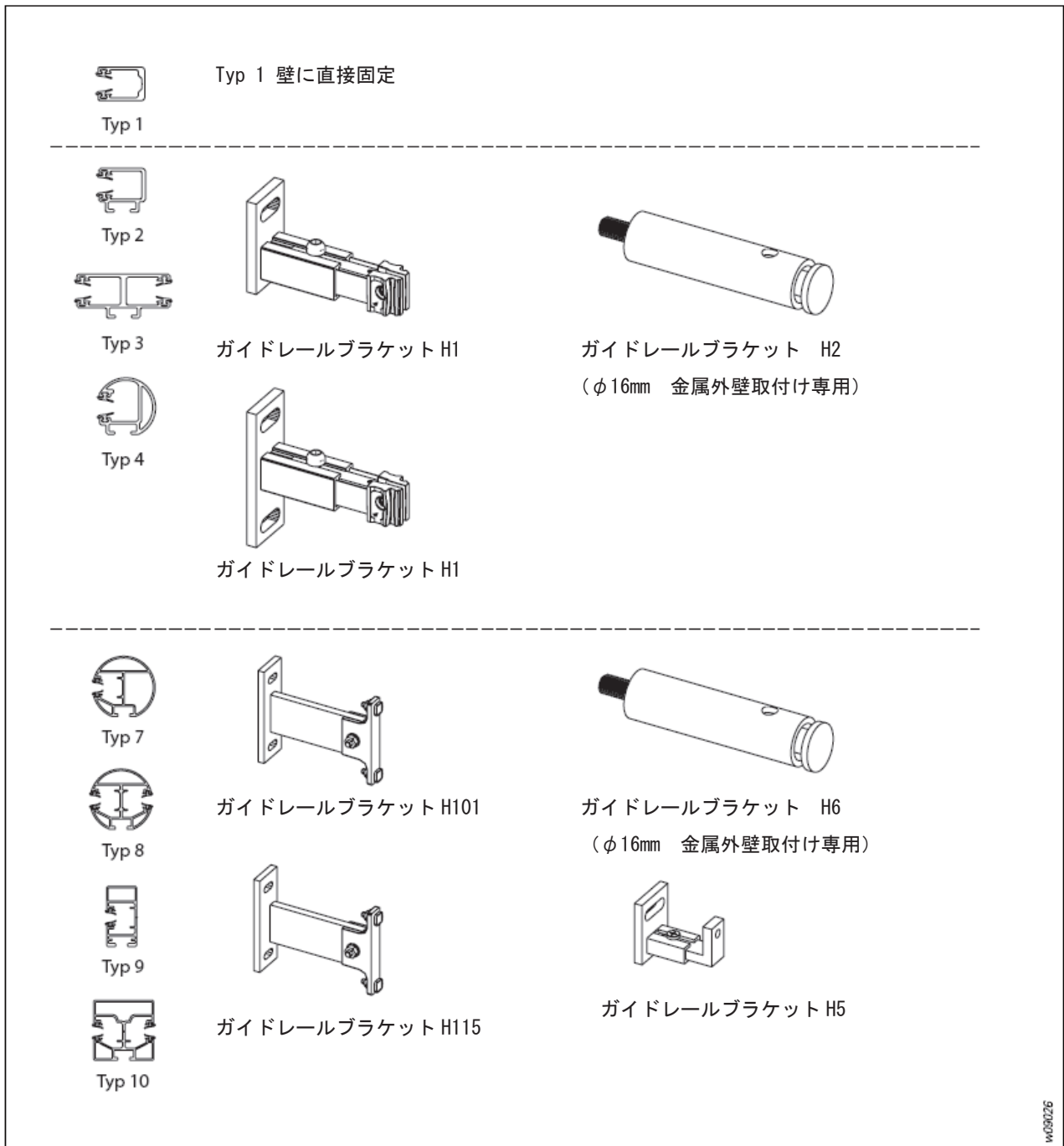


図 10 各種ガイドレールおよびガイドレール
ブラケット

ガイドレール type 1

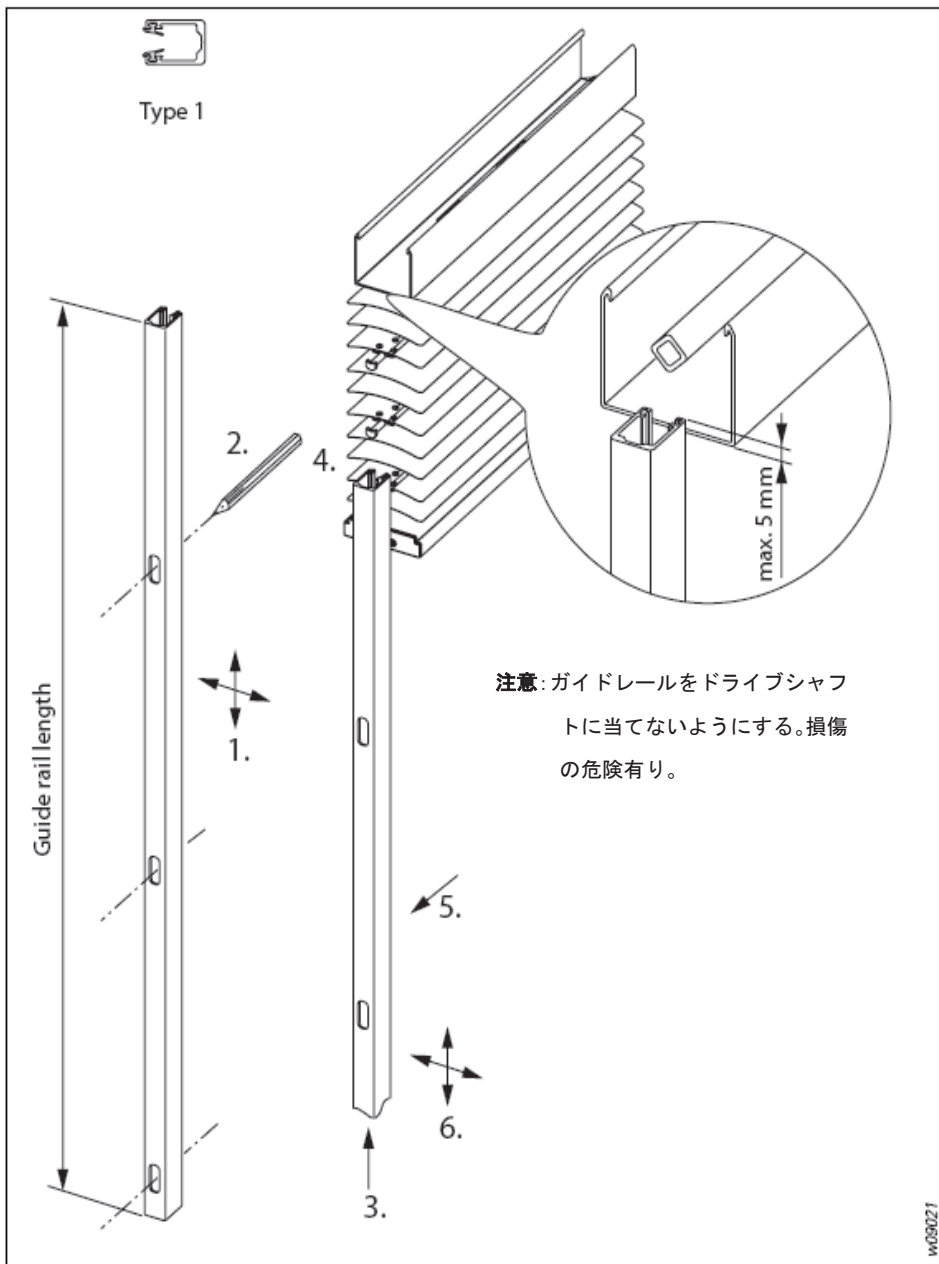
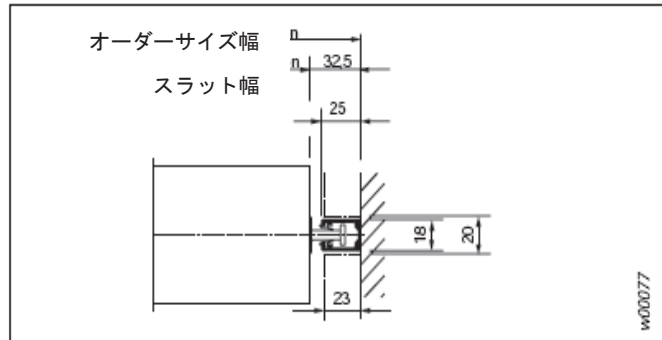
現状の構造に後付けする際に適したタイプ。

サイズ 23mm 厚

20mm 幅

取り付け用ネジ

- ・金属外壁
- ・木
- ・スレート



- ガイドレールを天井、壁に垂直に(ガイドレールの中心=トップレールの中心になるように)、高さを調節しながら仮置きし正しい位置に印をつける。
- ガイドレールを外し印の位置に穴をあける。ガイドレールにエンドレールニップルおよびスラットニップルを通す。この過程でガイドレールをドライブシャフトに当てない様に注意する。
- ガイドレールを押しえ位置を調整しネジで固定する。

図 1 2 ガイドレール type 1 の取付け手順

ガイドレール type 2, 3および4のガイドレールブラケット typeH 1による取付け

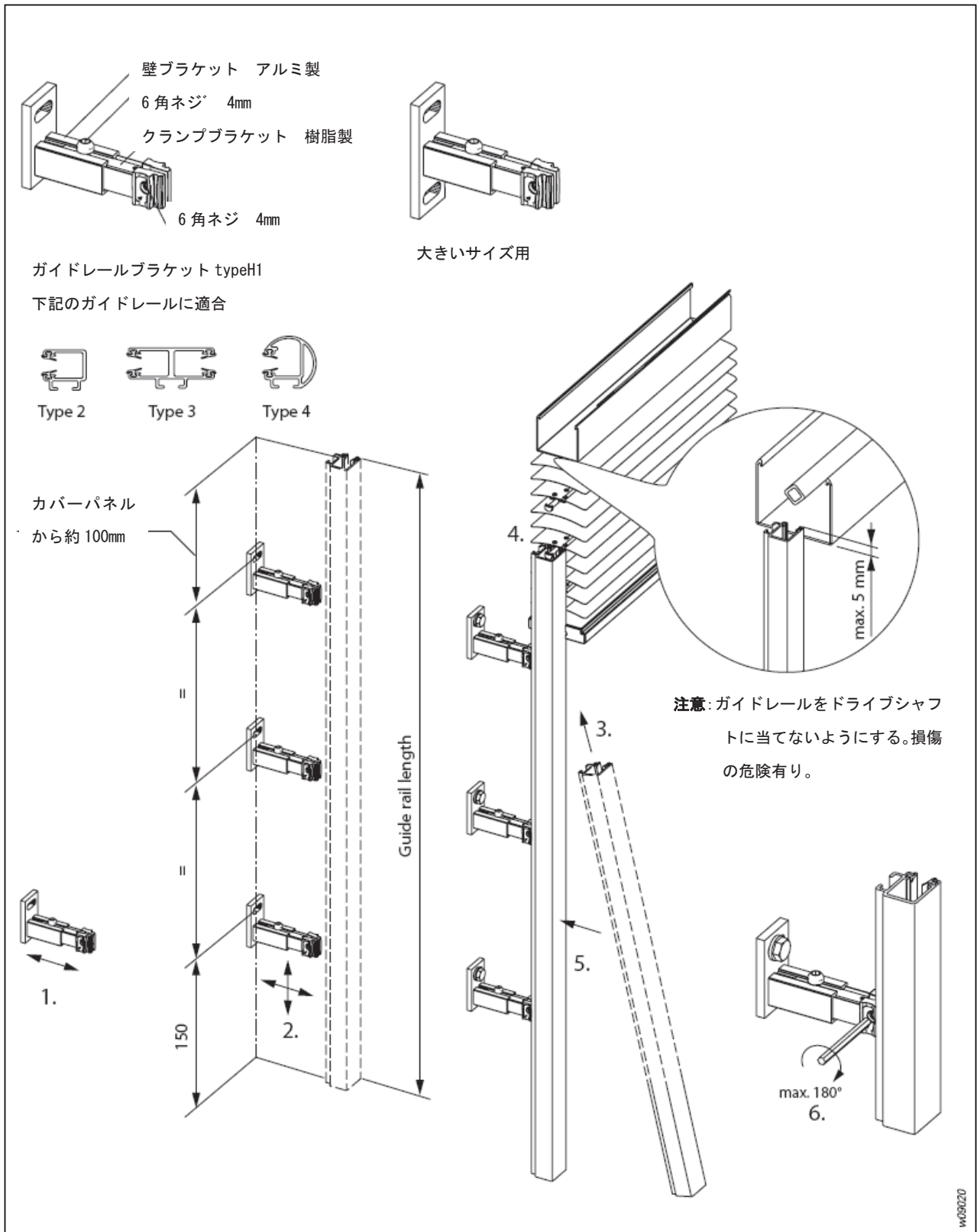


図 1 3 ガイドレール type 2, 3および4のガイドレールブラケット typeH 1による取付け

- ガイドレールブラケットと壁の距離は事前に調査してください。
- 壁に取り付けるガイドレールブラケットの位置を測り、印をつけてください。その際、図13に示した位置に注意してください。

☞使用するガイドレールブラケットの数は下記の通りです

ガイドレール長さ mm	ブラケット数
～1400	2
1401～2500	3
2501～3500	4
3501～4500	5
4501～5000	6

- 印をつけた位置に穴をあけてください
- ガイドレールを天井、壁に垂直に（ガイドレールの中心＝トップレール奥行きを中心になるように）、高さを調節し固定してください。
- ガイドレールにエンドレールニップルおよびラットニップルを通します。この過程でガイドレールをドライブシャフトに当てない様に注意してください。
- ガイドレールを適切な高さに調節し、クランプ用六角ネジを回しクランプ幅を小さくしてください。
- ☞クランプ用六角ネジは最大180度まで回転可能です。それ以上は回さないでください。
- クランプ用六角ネジを4mmの六角レンチで左回転させるとガイドレールに固定されます。

注意：

ガイドレール落下により、怪我の恐れがあります
クランプ用六角ネジを180度以上回転させないでください。

！構造的な理由により、ガイドレールブラケットを180度回転させた状態で使用する場合には、足長さ調整用の六角ネジは下方から回転させることになります。

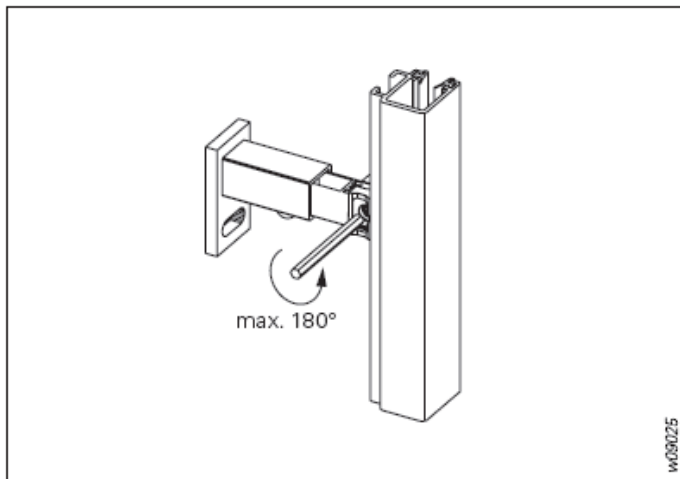


図14 クランプ用六角ネジの回転方向
最大180度で固定完了

ガイドレール type 2、3、4 (ガイドレールブラケット type H 2を用いる)

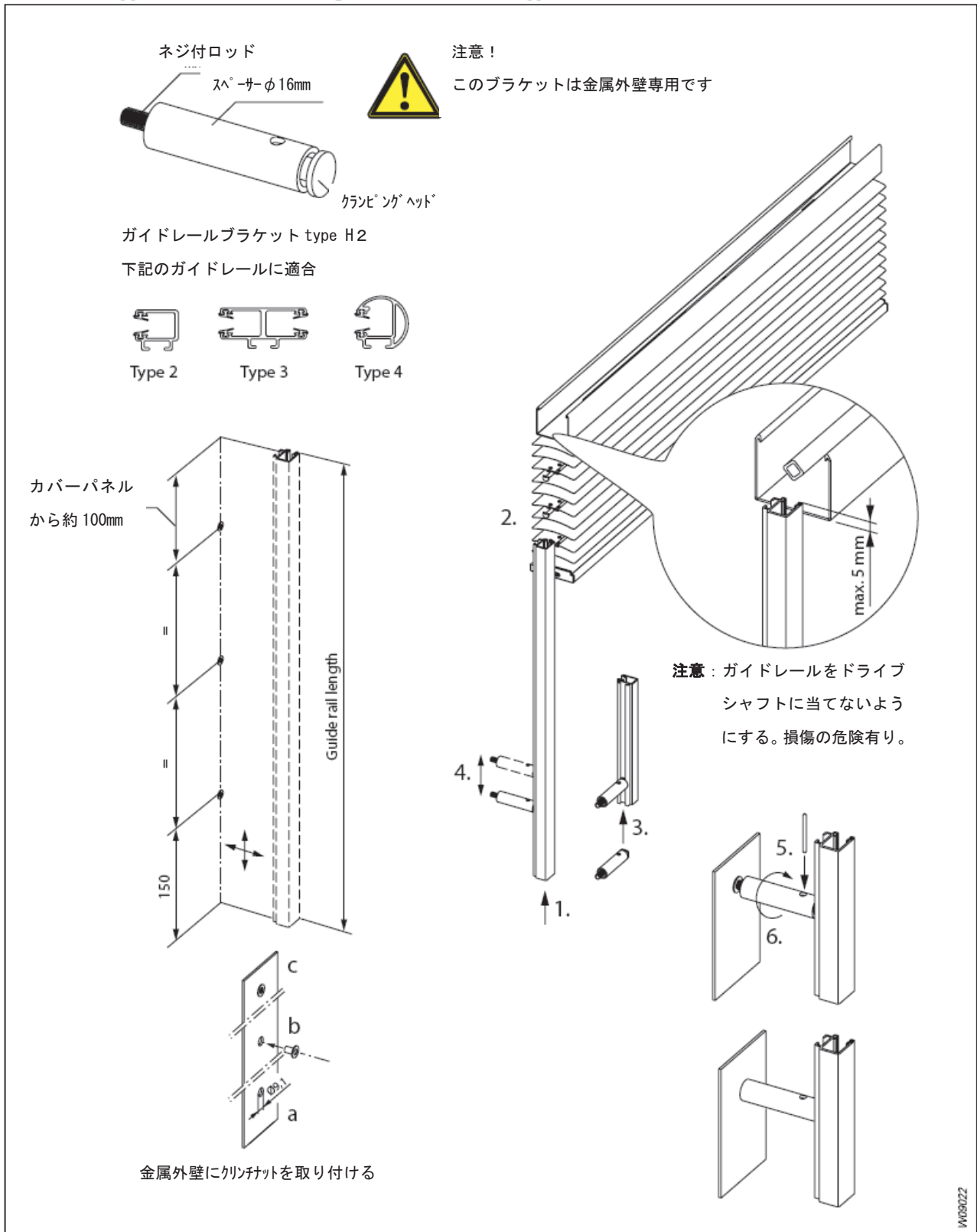


図 15 ガイドレール type 2、3、4 (ガイドレールブラケット type H 2を用いる)

必要に応じて金属外壁にクリンチナットを取り付ける

- 壁に取り付けるクリンチナットの位置を計り、印をつけてください。その際、図 15 に示した位置に注意してください。

☞使用するガイドレールブラケットの数は下記の通りです

ガイドレール長さ mm	ブラケット数
～1400	2
1401～2500	3
2501～3500	4
3501～4500	5
4501～5000	6

! 次の作業を行う際には標準的な作業手順を守ってください。センターポンチを打ってから穴を開ける事などです。

- 印の場所に直径 9.1mm の穴をあける
- 穴にクリンチナットをはめ専用工具で固定する
- ガイドレールにエンドレールニップルおよびスラットニップルを通す。この過程でガイドレールをドライブシャフトに当てない様に注意する。
- ガイドレールブラケットとガイドレールを結合する。
(図 15 参照)

! スペーサーパイプをドライバーを用いて回転させる (図 15 参照)。プライヤーなどで挟んで回転させないように。

- ガイドレールブラケットの高さをクリンチナットの高さと一致するように調整する。
- ガイドレールと壁がしっかりと固定されるまでスペーサーパイプを回す。

ガイドレール type 7、8、9、10 (ガイドレール
ブラケットH101またはH115)

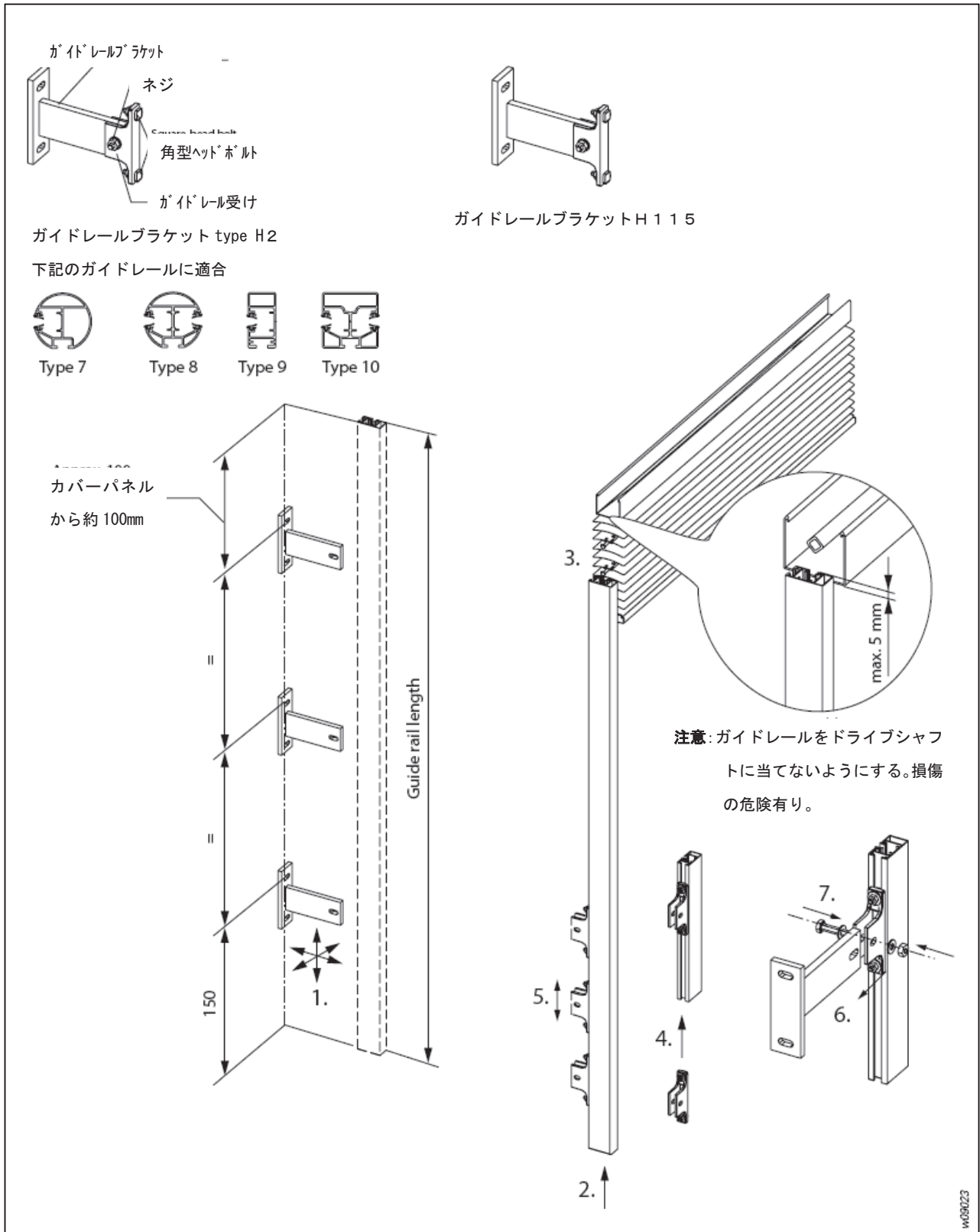


図 1 6 ガイドレール type 7、8、9、10 (ガイド
レールブラケットH101またはH115)

- ガイドレールブラケットの位置を測り、印をつけます。
その際、図 1 6 に示した位置にあわせてください。

☞ 使用するガイドレールブラケットの数は下記の通りです。

ガイドレール長さmm	ブラケット数
～3000	2
3001～5000	3

- 印の位置に穴を開けてください。
- ガイドレールブラケットを壁に対して垂直に取り付けます（壁の材質に適したネジを使用すること）
- ガイドレールをエンドレールニップルおよびすべてのスラットニップルに通します。この際にガイドレールをトップレール内のドライブシャフトに当てないように注意すること。
- スラット受けの四角いヘッドボルトをガイドレールの溝にはめ込みます。（図 1 6 参照）
- ガイドレールブラケットの高さへスラット受けを移動させネジで固定します。
- ガイドレールを垂直に取り付けます。
- 取り付けネジをしっかりと閉めます。

ガイドレール type 7, 8, 9, 10 のガイドレールブラケット
type H 6 による取付け

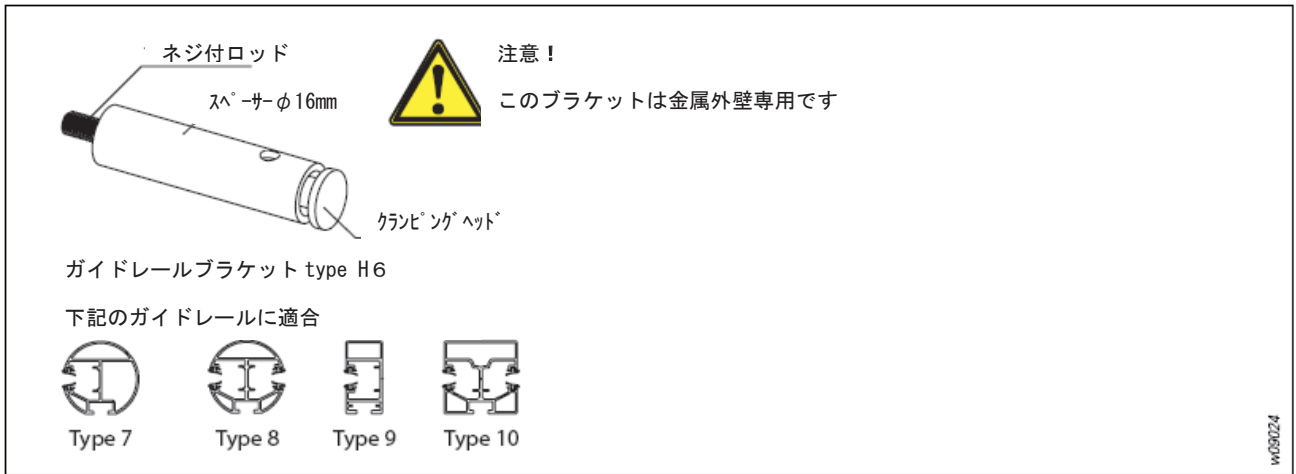


図 1 7 ガイドレール type 7, 8, 9, 10 のガイドレール
ブラケット type H 6 による取付け

必要に応じて金属外壁にクリンチナットを取り付けてく
ださい

■壁に取り付けるクリンチナットの位置を測り、印をつけ
てください。この際、図 1 5 に示した位置に注意してくだ
さい。

☞使用するガイドレールブラケットの数は下記の通りで
す。

ガイドレール長さ mm	ブラケット数
～2000	2
2001～3800	3
3801～5000	4

この先の工程は 1 7 ページで確認してください。

ガイドレールを短くする場合（必要な場合のみ）

！ガイドレールは最大 5 ミリまで短くできます。

■ガイドレールを必要に応じて短くする

☞ガイドレールを短縮する場合、ブラインド自体も短く
する必要があります。そうしないとエンドレールが脱落し
ます。

ガイドレールタイプに耐風力を持たせる為にガイドケーブルを追加する場合 テンションアングルの設置

！トップレールからケーブルを垂直に垂らした位置にテンションアングルの中心を置きます。スラットを下げきった際にエンドレールの下面がテンションアングルに接触しないように位置を決めてください。

■テンションアングルの位置と固定ネジ穴の位置に印をつけ穴を開けます。(使用するネジの直径にあわせて穴をあけてください)

装置の高さ＝トップレール上面からエンドレール下面

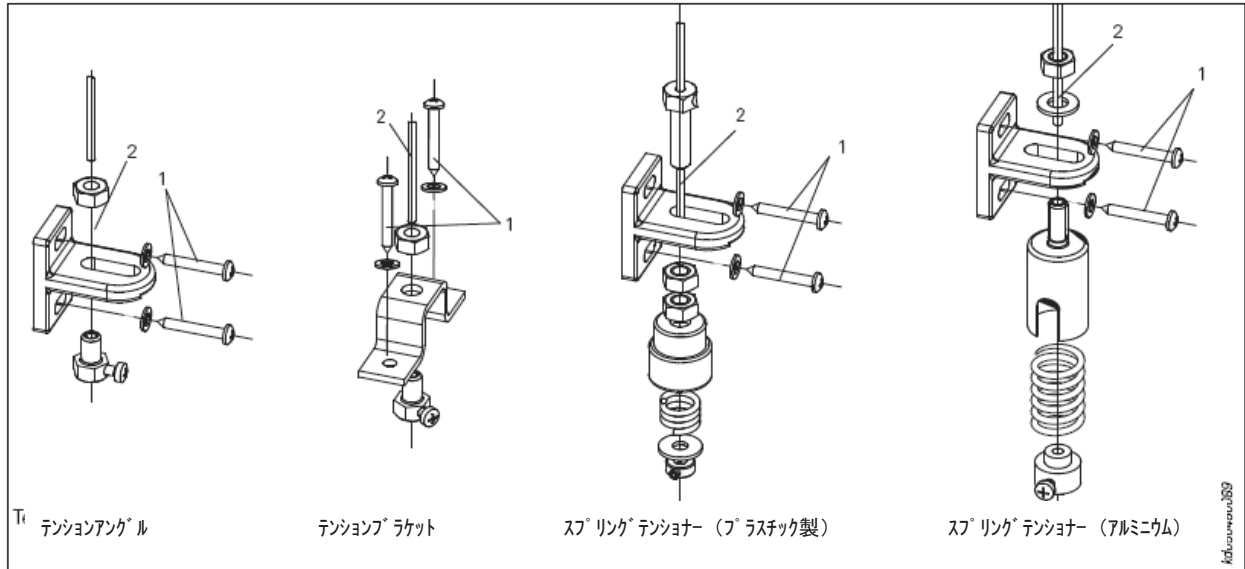


図18 テンションアングル/テンションブラケット

スプリングテンショナー

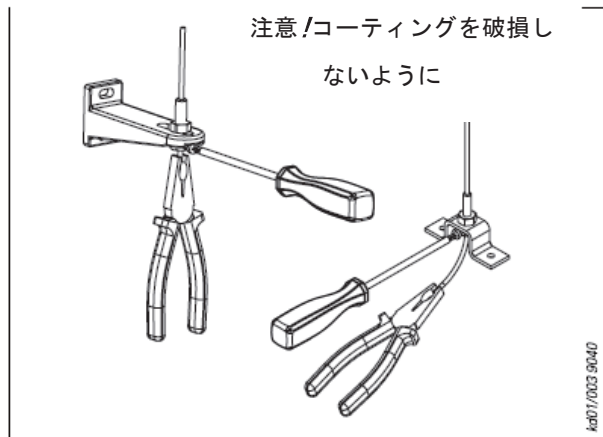


図19 ガイドケーブルのセット方法

テンションアングル/ブラケットの設置方法

■テンションアングル/ブラケットを図18の通り取り付け

ガイドケーブルの設置方法

■ガイドケーブルをテンションアングル/ブラケットに通し固定します。

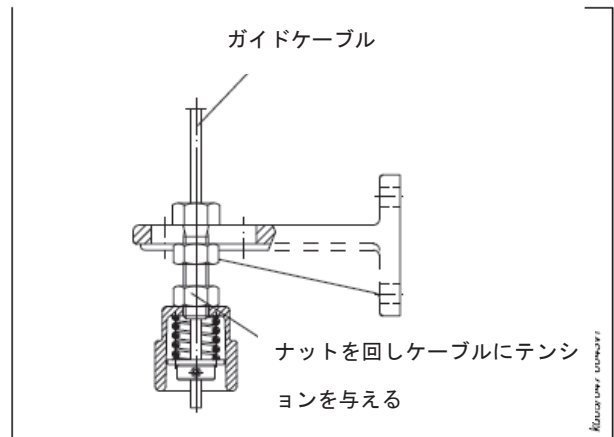


図20 スプリングテンショナーにガイドケーブルを固定する場合

■ガイドケーブルをペンチで引張り(この際コーティングを破損しないように!),同時にネジを締めます。(図19)

！スプリングを設置・引張る際にペンチで傷を着けないように

プラスチック製スプリングテンショナーの取り付け

- スプリングテンショナーの取り付け（図18）
- 2個目のナットをガイドケーブルがピンと張るまで回します（図20）

アルミ製スプリングテンショナーの取り付け

- スプリングテンショナーの取り付け（図18）
- ガイドケーブルをペンチで引張り同時にネジを締めます。
- 余ったガイドケーブルは、テンションアングルから約100ミリの位置で切断します。

カップリング装置

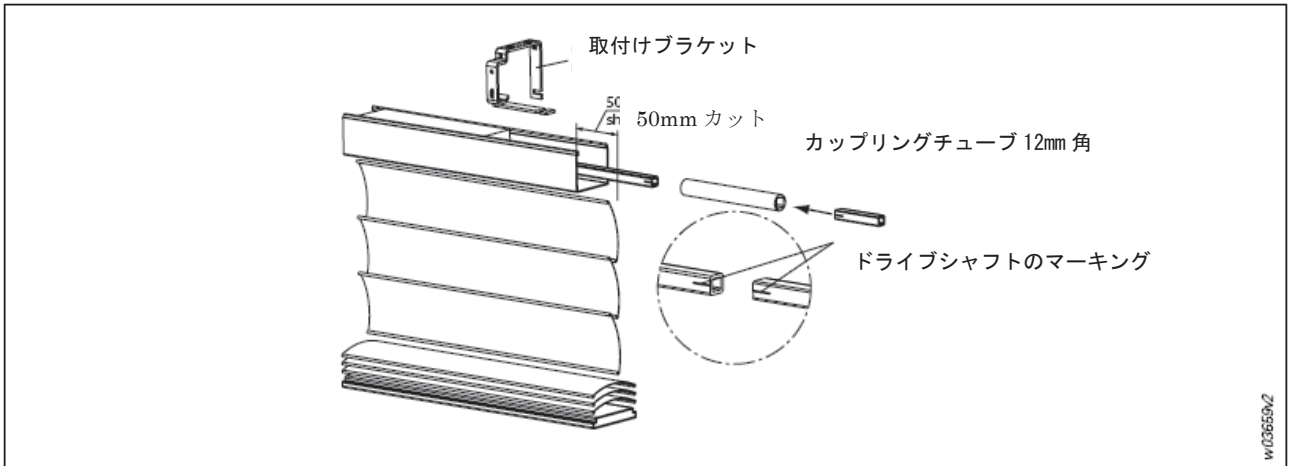


図 2 1 モーター付ユニットへカップリング装着

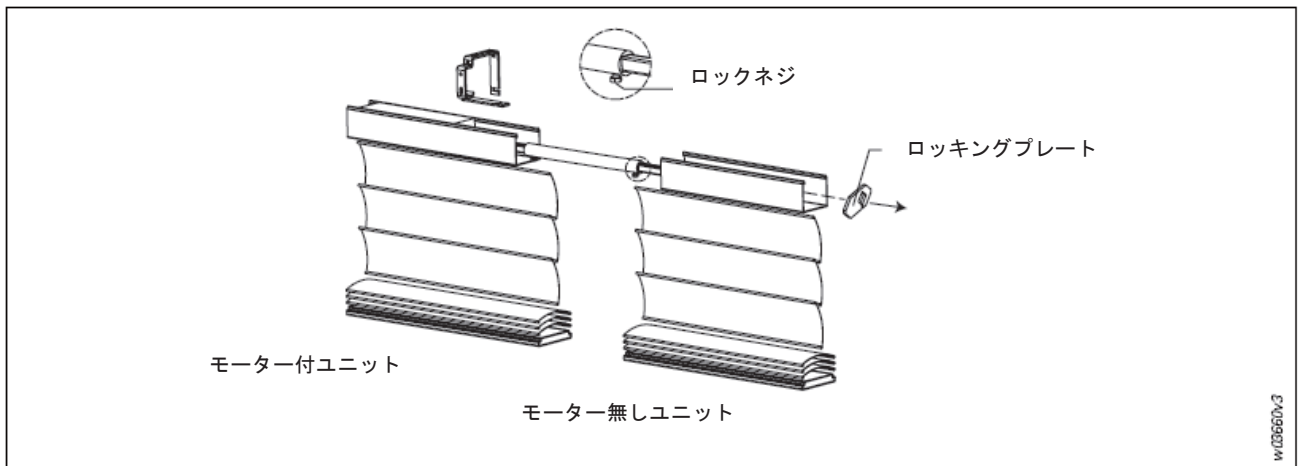


図 2 2 モーター無しユニットと結合

ノート：

カップリングパイプのロックボルトを固定する為に、カップリング側のトップレールを 50 ミリカットします。

■モーター付ユニットを設置します。(前項参照)

? すべてのブラケット (モーター付側・カップリング側 双方) の垂直・水平方向の位置をあわせてください。

■モーター付ユニットのドライブシャフトにカップリングパイプを差し込みます。

■モーター無しユニットを取り付けるブラケットをオープンにします。

■モーター無しユニットのロックングプレートを取り外します。

! リミットスイッチで自動停止するまでスラットを下降させます。

■ブラケットにトップレールを通します。

■ブラケットを閉じ固定します。

■トップレールが窓枠、ファサード面に対し平行にまた中心に位置するように調整します。

■モーター付ユニット側のエンドレールがモーター無しユニットのエンドレールと同じ高さになるまで下降させます。

! 破損の危険あり

ドライブシャフトについているマークにあわせて結合すること。

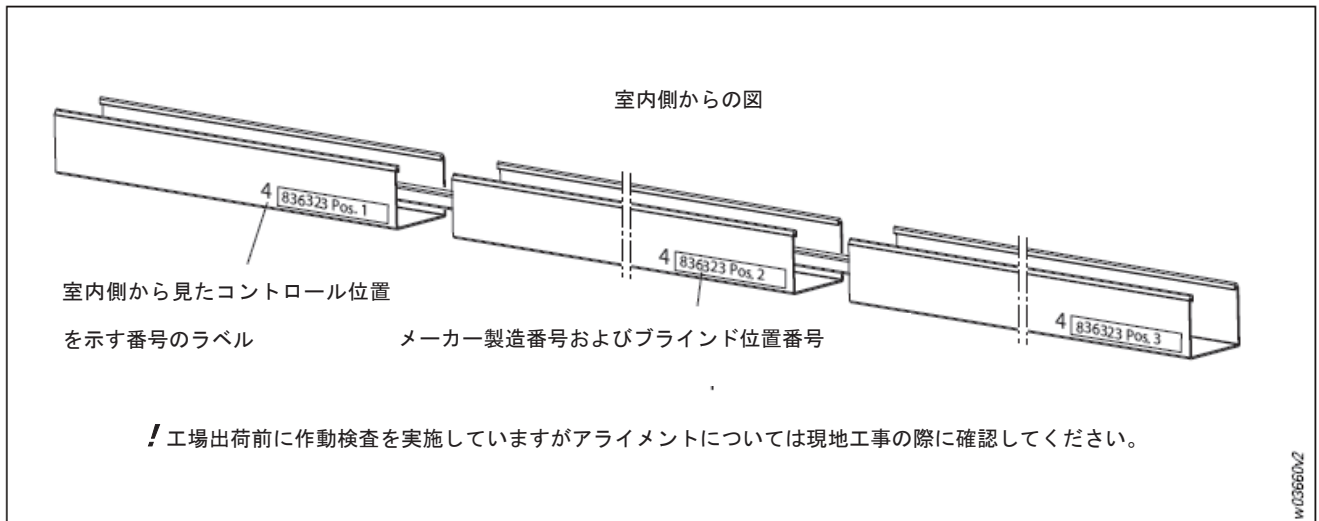


図 2 3 カップリングユニットの位置番号

- モーター無しユニット側のドライブシャフトにカップリングパイプを差し込みます。
- カップリングパイプがトップレール間の中央に来るように位置を調整します（図 2 2）
- ロックネジを締めてカップリングパイプを固定します。カップリングにユニバーサルジョイントを使用する場合はトップレールを取付けブラケットにネジ止めする必要があります。

!各ブラインドが均等に動くかどうか確認してください。トップレールに収納された状態のカップリング側のブラインドが破損してしまう恐れがあります。

?カップリングの直線精度が確保できない理由でスムーズな動作が得られない場合は、モーター無しユニット側のドライブシャフトの調整を行ってください。

トラブルシューティング 機能テスト

■ブラインドを数回昇降、スラット角度調整を行ってください。

☞ブラインドを完全に下ろした際、エンドレールはリフティングテープにぶら下がった状態になりリフティングテープはテンションを保っています。カップリング側ブラインドのエンドレールも同じ高さになるか確認してください。
Z型スラット C/E69A6 と C/E94A6 の場合、エンドレールはループコードに吊り下げられています。リフティングテープはスラット間でゆるめに設置されています。

トラブルシューティング

トラブル	原因	対処法
モーターが動かない	電力が通じていない	電力が通じているか確認してください。(電気業者に確認)
	現場のコンセントが正しく接続されていない	新しく電気配線をやり直してください。(電気業者に確認)
	モーターがオーバーヒートした	10～20分待って、再度作動させてみてください
	モーターが故障している	モーター交換
	地域が停電している	通電するまで待ってください
エンドレールが最下部に達している	ガイドレールが高すぎる位置に設置されている	ガイドレールの取り付け位置を測り、修正します。
スラットは回転するが巻き上がらない	リフティングテープが切れている	リフティングテープの交換(施工業者のみ可能)
カップリングのブラインドが回転しない	カップリングパイプからドライブシャフトが抜けている	モーター側ブラインド側へカップリングパイプを押しドライブシャフトに差し込んでロックネジを締めなおす。
カップリング側のスラットが遅れて回転する	カップリングパイプのロックネジが緩んでいる	カップリングパイプのロックネジを締めなおす
クランクが作動しない	6角ドライブシャフトが短すぎる	新しいピボットベアリングを取り付ける。
	ギアの故障	ギア交換
	リフティングテープが切断	リフティングテープの交換
	クランクもしくはピボットベアリングが故障	交換
ギアが重過ぎる	6角ドライブシャフトのアライメントが取れていない	ドライブシャフトとギヤボックスのアライメントを取り直す
	壁の穴位置がずれている	穴を開けなおす

リミットスイッチ調整

☞ ブラインドに取付けられているモーターには2個のリミットスイッチが内蔵され動作位置を調節できます。
必要に応じ工場出荷時の設定を変更することが可能です。

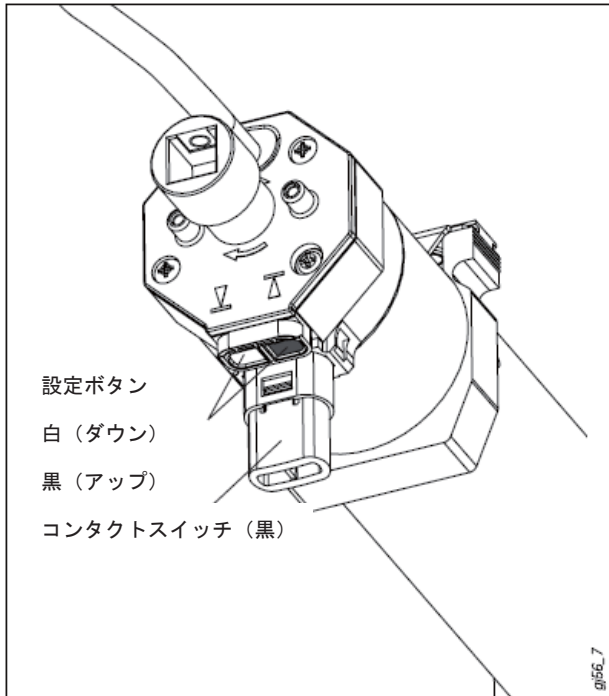


図 2 4 設定方法

トップリミットの調整

- 希望のトップリミット位置から約 300mm ブラインドを下降させます。
- 黒の設定ボタンを押してください。
- トップリミット位置までブラインドを上昇させます。
- 約 6 秒間ブラインドを下降させると黒の設定ボタンがカチッと戻ります。
トップリミット位置はこれで記憶されました。

ボトムリミットの調整

- 希望のトップリミット位置から約 300mm ブラインドを上昇させます。
- 白の設定ボタンを押してください。
- ボトムリミット位置までブラインドを下降させます。
- 約 6 秒間ブラインドを上昇させると白の設定ボタンがカチッと戻ります。
トップリミット位置はこれで記憶されました。

設定の変更

☞ システムはモーターの回転数設定によりエンドポジションを決定します。もしエンドポジションの設定が正確でない、または外的要因や摩擦力の増加によってブラインドの昇降動作が変化した場合には上記の手順で設定し直す必要があります。

掃除・交換・修理・取り外し・廃棄・保証に関して

締めくくりの仕事

- ユーザーに同封してある取扱説明書を渡してください

維持・メンテナンス

ユーザーにメンテナンスに関する契約をお勧めしてください。あるいはメンテナンスの指導をしてください。

掃除

注意！

この製品の掃除には高圧洗浄器の使用はできません。圧力・または熱によってスラットやスラットの表面に損傷を与える恐れがあります。

- ブラインドをクローズにし、スラットを適当な角度に調整します。
- ブレードを落とします。
- 安全な足場を用意します。ブラインドにつかまらないで下さい。
- スラットを強く押さないで下さい。
- 表面を傷つけないように、市販の弱い家庭用洗剤で洗浄してください。洗浄した部分は綺麗な水で洗い落としてください。

重要事項

上記メンテナンス方法以外でのお手入れをされた場合、いかなるケースにおいても賠償請求の権利はありません。研磨剤、研磨用スポンジ、アルコール・ベンジンの様な溶剤は使用しないで下さい。

スペアパーツ

部品交換が必要な場合、WAREMA の取扱店へご相談下さい。

修理に関して

修理の際は WAREMA 取扱店へご相談下さい。

取り外し/廃棄に関して

- 装置スイッチを切り、再びスイッチがオンにならないように気をつけてください。

この後の取り外し手順は取り付け手順の逆の順番で行ってください。

この製品の廃棄に関しては WAREMA 取扱店にお問い合わせください。

保証に関して

この製品説明書を無視した場合、あらかじめ目的とされている使用以外でこの製品を使用した場合は、生産者は保証の責任を負いません。日射遮蔽装置の取り扱い説明書の記述に注意してください。凍結時の日射遮蔽装置の操作による故障は、保証の範囲外です。